



# いしのまき



## 記憶と教訓を後世に



### 震災遺構門脇小学校

#### 津波火災の痕跡に多くの関心

東日本大震災の記憶と教訓を伝える震災遺構門脇小学校は、4月3日から一般公開され、初日から多くの人々が足を運びました。部分保存された本校舎は被災地で唯一、津波火災の痕跡を残し、高い建物への避難が必ずしも正解とならない場合があることを伝えています。



石巻市イメージキャラクター

改修された特別教室と屋内運動場は市内の被害や過去の津波が学べる展示館になっており、震災体験者の言葉が、自然とどう共生し災害に備えていくかを考えさせます。

一般公開に先立つ3月30日には開館式があり、齋藤市長はあいさつで「有事の迅速な避難行動に役立ててほしい」と願っていました。



▲開館式では関係者によるテープカットが行われました



▲津波火災に見舞われた被災校舎は、外部通路から見学ができます



▲校舎隣の展示館には、門脇小学校にあった備品の数々が並んでいます



▲屋内運動場には実際に使用された応急仮設住宅が復元され、内部も見学できます